

(一社) 三重県診療放射線技師会 学術講演会

日時: 2017年 5月 27日(土) 14:45~

会場: 三重大学医学部 臨床講義棟2F 第2講義室

14:45~15:00

学術情報

「造影剤の最近の話題」

第一三株式会社

15:00~16:00

特別講演1

座長:伊勢赤十字病院 医療技術部 放射線治療技術課 柴原 卓彦 先生

『心房細動アブレーションにおける 3-Dマッピングシステムの進化と各種モダリティとの連携』

桑名東医療センター 循環器内科 医長 千賀 通晴 先生

16:00~17:00

特別講演2

座長:遠山病院 放射線科 真柄 貴司 先生

『包括的心臓CT検査の実際と有用性』

三重大学医学部附属病院 中央放射線部 副部長 北川 覚也 先生

17:10~

情報交換会 三重大学 第1生協

春陽の候、皆様におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。
今年度最初の三重県診療放射線技師会の研究会である学術講演会のテーマは「心臓」とさせて頂きました。
特別講演1では、心房細動におけるアブレーション治療についての講演を桑名東医療センター 循環器内科 医長の千賀通晴先生にお願いしました。心房細動は高齢化社会と共に増えてきている病気の一つです。心房細動により、心不全が起こる可能性、そして心房内に血栓ができやすくなり、この血栓が脳梗塞のリスクを上げることから治療が必要です。心房細動の治療はアブレーション治療を始め、ここ20年ほどの間に大きく変わり、我々の業務にも関連してくる分野と考えます。
特別講演2では、我々の日常業務、そして研究分野において、もっとも密接な関係にあるCTについての講演を三重大学医学部附属病院 中央放射線部 副部長の北川覚也先生から頂きます。
北川先生は、皆様ご周知の通り、心臓CT分野の第一人者です。心臓CTはカテーテル検査に比べ患者への負担も小さく、検査の信頼性もカテーテルとほぼ同程度まで向上したことは言うまでもなく、カテーテルでは評価しにくい石灰化の情報量も優れており、多くの施設において活用されています。今回は心臓CT検査の実際と有用性についてお話いただきますので、この講演が皆様の普段の業務そして研究に役立つことは言うまでもありません。
どちらの講演も我々が日々の業務を行う中において、新しい知識を得られる貴重な講演と考えます。
皆様のご参加を心よりお待ちしております。

* 本会は、日本診療放射線技師会の生涯教育カウント及び日本救急撮影技師認定機構(2単位)、日本X線CT専門技師認定機構(1単位)の単位付与対象となります。

* ご来場の際は、なるべく公共交通機関をご利用ください。

* 当日は、ご参加頂いた確認のため、ご施設名、ご芳名のご記載をお願い申し上げます。

なお、ご記載頂いたご施設名、ご芳名は医学・薬学に関する情報提供のために利用させて頂くことがございます。

何卒ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

共催: 三重県診療放射線技師会 / 第一三株式会社